

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期す。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄り付する。

日赤新労

2023年
10月18日
発行
第261号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門2-7-9 鍋島ビル2F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 稲谷 幸司

2023年度 第2回中央委員会開催



中央委員会風景

第2回中央委員会
赤十字の使命と
福利厚生の充実
活動力の強化

九月十日（日）、十一日（月）西日、参集並びにWebによるハイブリッド会議において、全国より中央委員およびオブザーバー七十名の参加のもと、二〇二三年度第二回中央委員会が開催された。

初日は、幹部研修会が同時開催され、今回は平成三十年の幹部研修会で講師を務めていたいたい、一般社団法人日本血液製剤機構の谷澤正明氏に再度講演を依頼し、「令和六年度診療報酬改定の動向」「労働組合が知つおくべき最新情報 働き方改革と医療DXを見据えて」をテーマとした講演がおこなわれ、十八単組七十名が聴講した。（詳細は裏面にて）

幹部研修会後、第二回中「内閣府発表の令和五年八月の月例経済報告では、景気は、緩やかに回復している」と報告している。また、委任状三名で成立が確認された。議長に杉浦が選出され、議題が統一要求、勤務評定制度の勤勉手当への反映等について審議が行われた。審議に先立ち、佐藤中央執行委員長が挨拶

赤書記に阿迦井功氏大津日赤（日赤）が選出され、議題が統一要求もあって、緩やかな復興が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国经济の先行き懸念など、海外景気の下押するリスクとなつている。また、物価上昇、金融市場の変動等の影響

立場、次のように述べた。

九月十日（日）、十一日（月）西日、参集並びにWebによるハイブリッド会議において、全国より中央委員およびオブザーバー七十名の参加のもと、二〇二三年度第二回中央委員会が開催された。

初日は、幹部研修会が同時開催され、今回は平成三十年の幹部研修会で講師を務めていたいたい、一般社団法人日本血液製剤機構の谷澤正明氏に再度講演を依頼し、「令和六年度診療報酬改定の動向」「労働組合が知つおくべき最新情報 働き方改革と医療DXを見据えて」をテーマとした講演がおこなわれ、十八単組七十名が聴講した。（詳細は裏面にて）

九月十日（日）、十一日（月）西日、参集並びにWebによるハイブリッド会議において、全国より中央委員およびオブザーバー七十名の参加のもと、二〇二三年度第二回中央委員会が開催された。

初日は、幹部研修会が同時開催され、今回は平成三十年の幹部研修会で講師を務めていたいたい、一般社団法人日本血液製剤機構の谷澤正明氏に再度講演を依頼し、「令和六年度診療報酬改定の動向」「労働組合が知つおくべき最新情報 働き方改革と医療DXを見据えて」をテーマとした講演がおこなわれ、十八単組七十名が聴講した。（詳細は裏面にて）

一方日赤新労は、今年二月の第六十二回定期全国大会にて令和五年度ベースアップ要求として三・〇%、

